

令和元年度 第2回学校評議員会 会議録

1 日時・場所 令和元年11月19日(火) 15:40～16:40 応接室

2 出席者 学校評議員3名、校長、全・定教頭、事務部長、主幹教諭、教務主任

3 主な内容

(1) 学校からの説明

○令和元年度学校評価について

- ①自己評価中間報告 ②生徒授業評価結果

○本年度の取り組みについて

- ①全日制課程 ②定時制課程

(2) 学校評議員からの質問・意見等

(委員)・就職率100%を目指す、とあるが、これは正規雇用でということか。また、就職予定先は県外もあるのか。

(学校)・正規雇用ということである。県外からも多数求人をいただいているが、就職予定先はやはり県内が多い。保護者の方の意向も大きく作用しているように思われる。

(委員)・ボランティアへの活動意欲が低いという自己評価をされているが、幼稚園としては各種行事でとても助かっている。今年の運動会は、競技ごとの分担も決めてきてくれて、とてもスムーズな運営ができたし、雨天用に準備していた体育館の片付けも手伝ってくれた。保護者共々感謝している。

(学校)・そう言っていただけるとありがたい。幼稚園でのボランティア活動の担当教員と特別活動部で中間評価を担当している者の間で情報共有が十分ではなかったと反省している。

(委員)・授業評価において、予習復習が十分ではない、という生徒の自己評価だが、家庭ではスマートフォンの過度な使用という現状もあるのではないか。そういう調査はしていないのか。

(学校)・スマートフォンの使用に特化した調査はしていない。しかし、不登校傾向や保健室来室生徒から事情を聞く中で、スマートフォンへの依存的傾向が窺われることは多い。丁寧に対応していく必要があると思われる。

(委員)・普通科目に必要性を感じていない生徒もいるという話があったが、社会に出てみるとわかることがある。カリキュラムに沿って授業をすることも勿論だが、外の世界と接点を持たせて気づかせる体験をさせることは大切だと思う。また、結果を出せる機会を持たせ、自信を持たせることも大切だと思う。

(学校)・本校は、そういう機会を持てている学校ではないかと考えているが、次回の評議員会までに、具体的にお答えできるようにしたい。

(委員)・学校の活動状況を伝える写真の中に、安全面での配慮が十分ではないと思わせるものがあるが。

(学校)・指導しているが十分ではない部分があった。今後も引き続き留意して指導していきたい。

(委員)・コミュニケーション能力の育成に、継続して取り組んでいくとあるが、取組の実情をもう少し詳しく知りたい。

(学校)・次回の評議員会までに、関係教員から情報を得てお答えしたい。

(以上)